

## 県民衛星プロジェクト支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課		課長名	中嶋 浩一
事業主体	県、福井県民衛星技術研究組合				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政 策 [ 7 Society5.0時代の新産業創出 ]	関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]								
[解決すべき問題・課題]												
宇宙産業への参入に向けた県内企業の超小型人工衛星製造技術の習得 衛星データを活用するソフトウェアの開発による新たなビジネスモデルの創出												
[事業目的]												
福井県民衛星技術研究組合が県内企業の衛星製造技術の習得を目的に行う県民衛星「すいせん」の製造を支援するとともに、衛星データを活用するソフトウェア「衛星画像利用システム」をモデルユーザーとして福井県行政で利用し、結果をフィードバックすることによりソフトウェアの商品価値の向上につなげる。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 県民衛星の開発・打上げ支援 (6,516千円) 補助対象者 福井県民衛星技術研究組合 補助内容 県民衛星の製造費、初期運用費の支援</li> <li>(2) 技術研究組合運営費賦課金 (60千円) 組合員負担金</li> <li>(3) 衛星画像利用システムの活用 (28,600千円) 県民衛星から得られるデータを活用する「衛星画像利用システム」の導入</li> <li>(4) 県民衛星プロジェクトPR (229千円) 県民衛星画像プレゼント (名称募集優秀賞受賞者、ふるさと納税高額納税者)、衛星画像利用システムの県民向け体験利用</li> </ul>												
[受益者] 県内企業等						[想定される受益者数] 70企業						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 宇宙産業拡大支援事業 (役割分担)  本事業では、県民衛星の製造・打上げに関する費用を計上。 県内企業の宇宙産業への促進・販路拡大については別事業で計上。				
市町との連携状況						他県の状況						

## 県民衛星プロジェクト支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	県、福井県民衛星技術研究組合				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	2/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	35,405	17,702			17,703		地方創生推進交付金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		72,636	72,636	185,464	69,455	35,405	県民衛星打上げ支援補助金 △37,880千円					
2月現計予算額の推移		636	22,236	185,464	57,185							
決算額の推移		600	22,200	185,437								
前年度までの 主な増減理由	県民衛星製造費用（県補助金） ・平成28年度 県民衛星仕様書作成 20,000千円 ・平成30年度 打上げ費用（前払金）21,600千円 ・令和元年度 衛星製造、試験、衛星運搬費用、打上げ費用（前払金）184,839千円 ・令和2年度 打上げ費用、衛星放出後の初期運用費用 44,396千円											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	他自治体への衛星画像利用システムの販売数 (目標) 実績				(0) 0	(0)	(3)	(10)	・ R1：0件⇒R6：10件 (R3から全国自治体・民間への営業を開始、R4からの導入)  ・ R6までに全国自治体に営業			
活動指標	自治体への営業回数（試験利用含む） (目標) 実績					(12)	(25)	(47)				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
(製造スケジュール) ・ R2.3月 県民衛星「すいせん」製造完成  (衛星画像利用システム) ・ R2.8月 福井県行政での利用開始				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# デザインコネクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課		課長名	中嶋浩一			
事業主体	デザインセンターふくい				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	補助									□ 法定受託事務			■ 補助金	□ その他	経過年数
補助率	定額														2 年
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]								
[解決すべき問題・課題]															
経営、製品にデザインを導入する重要性の啓発															
[事業目的]															
北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、より成長が期待される製造業・農林水産業等の分野へのデザイン導入時の課題を解決し、「目立つ」商品・サービスの実現を図る。															
[事業内容]															
<p>(1) デザインコネクトセミナー &lt; 1,492千円 &gt;            分野毎に異なるニーズに応じたセミナーを開催。            ・ テーマ毎の講師によるデザイン開発ノウハウの伝授            ・ カウンセラーによるセミナー解説やセミナー後のグループワーキングを行い、デザインセンター事業の活用を促進            実施回数：4回（地域ニーズに応じて開催）、定員：50名程            テーマ例：選ばれるパッケージデザイン、売れるための仕組みをデザインする 等</p> <p>(2) 展示販売会 &lt; 1,408千円 &gt;            デザインセンター事業を活用し、デザインを導入した新商品等の展示販売会を実施。            エンドユーザーから生の声を収集することでより魅力的な開発につなげる。            実施回数：1回、場所：ものづくりキャンパス多目的ホール</p>															
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 約78万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

# デザインコネクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋浩一					
事業主体	デザインセンターふくい				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	定額															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,900	1,450			1,450		地方創生推進交付金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					2,900	2,900										
2月現計予算額の推移					2,719											
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	セミナーを通じて生まれ た新商品、サービス等	(目標)			(1) 0	(2)	(2)	(2)	2年度：当年度のセミナーを通じて1件 3年度：当年度までのセミナーを通じて2件							
活動指標	テーマ毎の講師によるデ ザインセミナー	(目標)			(4) 4	(4)	(4)	(4)	実施回数上限：4回/年							
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
コロナウイルス感染症の影響によりセミナーがオンライン開催となった。				オフラインでのセミナー開催を目指し、開催後はセミナー会場 で相談を受け、デザインの導入を支援する。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

## 海外眼鏡販路獲得フォローアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体		(一社) 福井県眼鏡協会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分 野	〔 II 成長を創る (産業力) 〕			関連する県の計画等		〔 福井経済新戦略 〕					
[解決すべき問題・課題] 産地の売上構成が、おおよそOEM50%、輸出30%、自社オリジナル製品20%の中で、将来の売上・利益を拡大させるためには、海外での産地ブランド力向上による輸出増加が課題のひとつである。												
[事業目的] 本県眼鏡企業の世界規模の眼鏡展示会への出展を支援するとともに、ポップアップストアを設置することで福井県産眼鏡の国外の販路拡大を図る。												
[事業内容] 世界中のバイヤーが一堂に会する海外（欧州および中国など）での国際眼鏡展示会（オンライン展示会含む）への出展の際に、搬送する眼鏡フレームを現地で消費者向けに販売することで、情報収集や海外市場への販売力の向上を行う。  事業主体 (一社) 福井県眼鏡協会  補助率 1 / 2  予算額 4, 000 千円 (一般) [補助金] (展示会出展: 上限 3, 000 千円、ポップアップストア: 上限 1, 000 千円)  実施期間 令和 2 年度～令和 4 年度												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成 25 年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出展を支援					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	鯖江市も一定額 (R1 年 5,000 千円) を支援し、海外での販路開拓を後押ししている。					他県の状況						

## 海外眼鏡販路獲得フォローアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一					
事業主体	(一社) 福井県眼鏡協会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	4,000					4,000										
[予算額の推移等]													(単位：千円)			
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移	4,500	4,500	4,500	4,000	4,000											
2月現計予算額の推移	4,500	4,500	4,500	140												
決算額の推移	4,493	4,500	4,500													
前年度までの 主な増減理由	令和元年度から令和2年度の減額： ・海外展示会共同出展事業について1,000千円減額 ・海外営業サポート分について500千円減額 ・ポップアップストア設置分として1,000千円増額 令和2年度2月現計： ・香港展のオンライン開催化と現地ポップアップストア開設の見合わせによる減															
[成果指標等の推移]																
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	展示会での成約件数	(目標) (100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(108)	(115)	福井県長期ビジョンにおける県輸出額2024年の目標が現在の7.5%増のため							
		実績 75	76	58	2											
活動指標	ポップアップストア出展社数	(目標) (15)	(15)	(15)	(5)	(7)	(12)	(18)	中間は展示会出展企業の2/3、最終は全社がポップアップストアに参加 ※令和元年度までは営業サポート件数							
		実績 15	17	18	0											
[事業の評価]																
前年度の実績			実績を踏まえた令和3年度の変更点					事業評価								
新型コロナウイルスの影響により、令和2年度香港展示会はオンライン開催となり、4社が出展し2件の成約があった。現地ポップアップストアの出展は感染リスクを考慮し見合わせた。			令和3年度は展示会開催前の現地新型コロナウイルス感染状況により、開催方式が判断される可能性が高いため、現時点ではリアル展を前提とし予算額は前年度から変更なしとする。オンライン開催となった場合には、前年度の経験をもとに十分な事前準備をし、出展社数の増加を目指す。					□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

## 越前焼技能者養成支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課		課長名	中嶋 浩一		
事業主体	越前焼技能者養成支援委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業	H13 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度		
事業実施方法	補助								□ 法定受託事務	■ 補助金			開始	経過年数
補助率	県1/2、町1/2												□ その他	年度
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ ]							
[解決すべき問題・課題]														
利便性・機能性重視の生活様式への変化とニーズの多様化等で、需要自体の減少と作り手の高齢化、後継者不足により、産地全体の出荷額が減少														
[事業目的] 日本六古窯の一つであり、約9百年の歴史のある越前焼については、26年度より伝統工芸職人塾を開設し、後継者の確保育成に取り組んでいるが、産地規模が小規模な越前焼産地が他産地との競争に打ち勝つためには、より高度な技術の習得が必要であることから、外部講師等による講義・実習を通じ、デザイン力や技術力の向上を図る。														
[事業内容] 若手越前焼作家に対して、越前焼の伝統技法を地元窯元が技術指導するとともに、外部講師（デザイナー、日展作家、他産地からの講師等を想定）を招き、より優れた製陶技術者を育成するための講義、実習を行う。  実施主体：越前焼技能者養成支援委員会 対象者：若手越前焼作家（基礎技能習得者） 実施場所：工業技術センター（窯業指導分所） 事業内容：デザイン、加飾技術、大物成型 等														
[受益者] 越前焼産地						[想定される受益者数] 約100名（越前焼従事者）								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担			<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 伝統工芸職人塾 (役割分担) 実施主体：越前ものづくりの里プロジェクト協議会 対象者：伝統工芸に興味を持つ若者（未経験者） 事業内容：越前焼工業協同組合による指導 原料やうわ薬の調整技術、成型技術（ろくろ）、焼成技術						
市町との連携状況	越前町が1/2補助しており、県と越前町の共同で実施				他県の状況			石川県 事業名：石川県伝統工芸専門技術者奨励金 対象：実務経験が3年以上5年未満の技術者15名 予算額：1人あたり年15万円 富山県 事業名：富山県伝統工芸品産業支援事業費補助金 対象：伝統的工芸品を製造等する事業者を構成員とする事業協同組合、伝統的工芸品産業振興を目的に設立された公益法人 予算額：販路開拓事業 補助率1/2以内、上限額300万円 人材育成事業 補助率1/2以内、上限額300万円						

## 越前焼技能者養成支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一					
事業主体	越前焼技能者養成支援委員会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H13 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	県1/2、町1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	1,000				1,000											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000											
2月現計予算額の推移	1,000	1,000	1,000	600												
決算額の推移	1,000	1,000	600													
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	研修参加者数 (目標)	(45)	(45)	(45)	(45)	(45)	(45)	基礎技能習得した若手作家45人を対象								
	実績	40	41	41	41											
活動指標	講座開催数 (目標)	(123)	(123)	(123)	(123)	(123)	(123)	$320(\text{分}) \times 23(\text{研修}) \div 60(\text{分}) = 123(\text{時間})$ ※目標 $320(\text{分}) \times 45(\text{研修}) \div 60(\text{分}) = 240(\text{時間})$ ※実績								
	実績	149	245	160	240											
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
1. 学科 造形講習 担当：山岸大成氏 2. 実技 下絵具、釉薬、素地講習 担当：手島敦氏 ろくろ講座 担当：岩間竜仁氏、泉直樹氏 越前固有の伝統技術の習得 他 3. 成果発表展（窯業指導分所で開催）				—				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						



## 越前ものづくりの里プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一				
事業主体	越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会、鯖江市、越前市、越前町、小浜市				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業開始年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度			
事業実施方法	負担金、補助								□ 法定受託事務	■ 補助金			■ その他	経過年数	8 年
補助率	県1/2、市町1/2														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	Ⅱ 成長を創る(産業力)		]		関連する県の計画等	[ 福井経済新戦略 ]								
[解決すべき問題・課題]															
<p>伝統工芸産業の生産額・従事者の減少 丹南5産地が連携した販路開拓や産業観光の推進</p>															
[事業目的]															
<p>伝統工芸産地（越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前筆筒）が丹南地域に集積している本県の特色を活かし、現場の意見を取り入れた、「攻め」の後継者育成、魅力発信を行うことにより、伝統工芸の新たな価値を高める。</p>															
[事業内容]															
<p>(1) 伝統工芸職人塾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工芸分野に携わりたい若者等が、技能に加え、魅力ある商品づくり、デザインや経営的な視点を学べる「職人塾」を開設</li> <li>※攻めのポイント セルフプロデュース力を高め、外国人等と交流する機会を設け、時代の変化に対応できる人材を育成</li> </ul> <p>(2) 伝統工芸産地連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産地連携を通じて地域のブランド力を向上</li> <li>※攻めのポイント</li> </ul> <p>従来の「見せる」「売る」「広げる」から、現場の声に即応し、顧客満足度を高める「見たい」「買いたい」「行きたい」に産地組合に加え、販路開拓や産業観光に対し意欲的な現場の若手職人、クリエイター等を応援</p> <p>[見たい] → 工房見学、産業観光イベントパンフの印刷 全国誌、地元広報誌等へのイベント情報掲載応援</p> <p>[買いたい] → 海外バイヤー等を対象とした産地ガイドツアー、商談会 クラウドファンディング、留学生、海外企業研修誘致等を活用した海外展開 買いたくなる産地、店づくりを応援(看板、チラシ、照明等環境整備)</p> <p>[行きたい] → ワクワクするものづくり体験(福井ものづくりキャンパスでの体験教室) [デザインセンターふくい運営費] 産地での体験をダイレクトに発信(インフルエンサー)</p>															
[受益者] 丹南の5伝統工芸産地						[想定される受益者数] 約1,600人(丹南の伝統工芸従事者)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	運営委員会は県、市町、産地組合、商工団体で構成している。事業費用は県と市町で折半している。					他県の状況		○各地の伝統工芸後継者育成事業 ・静岡県〔クラフトマンサポート事業〕月10万円 最長2年間支援 ・東京都荒川区〔荒川の匠育成事業〕月14万円 最長3年間支援 ・鳥取県〔ふるさと産業支援事業〕月17万円 最長2年間支援 (経費は県と市町村が折半)							

## 越前ものづくりの里プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会、鯖江市、越前市、越前町、小浜市				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	負担金、補助											
補助率	県1/2、市町1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	33,594	16,797			16,797	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		31,174	33,496	35,050	33,594	33,594						
2月現計予算額の推移		27,375	29,557	31,051	28,233							
決算額の推移		24,220	28,713	27,403								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度 職人塾生枠の変動、産地連携事業の充実による増</li> <li>・平成30年度 産地連携事業の充実による増</li> <li>・令和元年度 産地連携事業の充実による増</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	伝統工芸職人塾 長期塾生数(人)	(目標) 実績	(40) 75	(60) 75	(80) 96	(100) 115	(120)	(150)	(200)	毎年10名程度採用(延べ人数、累計)		
活動指標	伝統工芸職人塾 座学回数(回)	(目標) 実績	(24) 24	(24) 24	(24) 24	(24) 12	(24)	(24)	(24)	月2回		
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
R2年度実績 県・市町・産地等が一体となり長期職人塾生19名、短期職人塾生12名(計31名)を確保、育成した。				長期職人塾への移行を見据え、自分にあった工芸を気軽に体験できる職人体験学校を開設				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 国際北陸工芸サミット開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課		課長名	中嶋 浩一
事業主体		県、北陸三県連携企画事業実行委員会			事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	上記委員会で協議の上決定											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	Ⅱ 成長を創る(産業力)			関連する県の計画等		[ ]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p style="text-align: center;">国外、県外での知名度向上、販路拡大</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>北陸地方では、日本文化の粋を支える伝統工芸や世界に誇れる技や表現力による工芸作品が数多く制作されている。これらと世界との交流を図ることで「日本の工芸」の未来への継承と発展を探る機会とするために、文化庁において国際工芸サミットの開催が企画されている。本県においても、7つの国指定伝統的工芸品をはじめとする世界に誇れる技や文化を国内外に発信するために、この国際工芸サミットに積極的に参加したい。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>三県連携事業(3,000千円) ○テーブルウェア・フェスティバルへの出展</p> <p>勅使河原宏芸術祭開催(6,281千円)</p>												
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 約78万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	越前ものづくりの里プロジェクト協議会の中で、鯖江市・越前市・越前町と情報共有しながら事業進行					他県の状況	富山県 R3年度 国際工芸サミット サブ会場 石川県 " 国際工芸サミット メイン会場					

## 国際北陸工芸サミット開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	県、北陸三県連携企画事業実行委員会				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	上記委員会で協議の上決定					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	9,281	4,040		諸収入	1,200	4,041	文化芸術創造拠点形成事業					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		8,000	8,000	116,441	3,000	9,281	勅使河原 宏 芸術祭の開催により増額					
2月現計予算額の推移		8,000	8,000	116,441	2,500							
決算額の推移		7,977	7,928	108,095								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	各種展覧会への来場者 (人)	(目標) (15,000)	(15,000)	(50,000)	(15,000)	(16,000)	(16,000)	(16,000)	テーブルウェアフェスティバル(全体270,000人 福井県ブース15,000人)			
		実績 21,046	12,836	51,717	19,255							
活動指標	新商品の実用化実績 (円)	(目標) (1,200)	(1,200)	(1,200)	(1,200)	(1,200)	(1,200)	(1,200)	実用化売上 400,000円/件×3件			
		実績 3,230	1,000	1,800	1,200							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
・テーブルウェア・フェスティバル(オンライン)への出展				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 産業観光ビジネス支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋浩一	
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]												
観光客を呼び込む産業観光のビジネス化												
[事業目的]												
北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた産業観光ビジネスモデル構築のため、デザイナー等の専門家の監修による見学・体験メニュー等の開発に挑戦する企業を支援する。												
[事業内容]												
事業内容：企業の工場見学や体験メニュー開発等の経費を助成 スポット店舗：デザイナー等の専門家の監修による見学・体験メニュー等の開発等の経費を助成 補助対象：伝統工芸、眼鏡等県内ものづくり企業や県内企業集団等 補助率：県2/3 補助上限額：300万円												
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 約78万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	-					他県の状況	-					

# 産業観光ビジネス支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋浩一	
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県2/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	15,379				15,379							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				25,379	15,379	支援メニューの一部（HUB拠点）を別事業に組み替えのため、3年度に限り減						
2月現計予算額の推移				12,277								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由	—											
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	産業観光施設の集客数 (人)	(目標)				(530,000)	(660,000)	(660,000)	(800,000)	令和元年度（40万人）に対し、令和4年度に倍増（80万人）		
活動指標	支援件数（社）	(目標)				(6)	(5)	(11)	(17)			
		実績				6						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
・採択件数 スポット店舗 5件 HUB拠点 1件 ・R5目標（上記6件の合計） 店舗来場者数 +7,500人 店舗売上 +45,000千円				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	10,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> その他		

## 「FUKUI TRAD」を活用した伝統工芸品プロモーション事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	産業技術課		課長名	中嶋浩一			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	直営、委託								□ 補助金				事業 開始 年度	R3 年度	経過年数
補助率	-								□ その他				1 年	1 年	
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野	〔 Ⅲ 楽しみを広げる(創造力) 〕			関連する県の計画等		〔 福井経済新戦略 〕								
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>売れる商品に繋がるような著名企業・ブランドとの連携と高い商品価値の維持 価値の向上に向けた長期スパンでのブランド運営</p>															
<p>[事業目的]</p> <p>北陸新幹線の開業に向け、新ブランド「FUKUI TRAD」を活用した商品開発やPR、駅周辺のアンテナショップの設置等を通じ、県内外に本県が誇る伝統工芸品の認知度向上を図る。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>①アパレル・デザイン企業等の持つチャンネルを活かした販売・プロモーション          ・アパレル企業等の監修による商品開発          ・開発した商品を企業のショップやECサイトを通じ販売</p> <p>②SNSによる情報発信</p> <p>③新幹線の開業に向け、旅行者をターゲットにした認知度向上          (新幹線開業課の事業により実施)          ・福井駅周辺に「FUKUI TRAD」アンテナショップを整備          ・プレゼント企画による情報発信の加速</p> <p>④「FUKUI TRAD」ブランドの管理・運営          ・ブランド認定にかかる審査会の設置・運営          ・ホームページの管理運営</p>															
[受益者] 伝統工芸企業						[想定される受益者数] 400社以上									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	・市町民や県外訪問者等に対する事業PR ・市町や伝統工芸組合が参加する協議会において関連事業を実施					他県の状況	-								

## 「FUKUI TRAD」を活用した伝統工芸品プロモーション事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋浩一					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	32,816	16,408			16,408		地方創生推進交付金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						32,816										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由	-															
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	「FUKUI TRAD」販売額 (千円)	(目標) 実績				(4,000)	(24,000)	(24,000)	@200千円 × 下記商品数 × 2箇所 (デザイン企業のショップ、 アンテナショップ)							
活動指標	「FUKUI TRAD」商品数 (累計)	(目標) 実績				(25)	(60)	(60)	R2：10品 (新幹線開業課事業による) R3、R4：@2~3品×7産地=15/年 R5：上記に加え、一般企業の自薦による商品数+5							
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						



## 北陸新幹線開業に向けた伝統工芸品建材活用支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助								事業経過年数	1 年		
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ III 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大限 ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]												
新幹線開業に向けた伝統工芸品の認知度向上 新しい分野(建材・インテリア等)への需要拡大												
[事業目的]												
北陸新幹線開業に向け、県内外の宿泊施設や飲食店等における伝統工芸品の技術・技法等の活用を推進し、本県の伝統工芸の魅力を広く発信する。また、建材やインテリア等新しい分野における伝統工芸品のさらなる需要拡大を目指す。												
[事業内容]												
国指定伝統的工芸品(越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前筆筒、若狭塗、若狭めのう)の技術・技法を県内外の宿泊施設や飲食店等の内外装等に活用する場合、導入経費の一部を支援する。県内事業者の場合は、ふくいデザインセンターへ相談し、デザイナーやディレクター等の監修を受けることを条件とする。												
(1) 補助対象者 県内外に所在する宿泊施設、飲食店、店舗等												
(2) 対象経費 伝統工芸品の技術・技法を活用した内装(備え付けの調度品も含む)や外装の導入経費												
① 県内の場合 上限1,500千円、下限250千円												
② 県外の場合 上限1,500千円、下限500千円												
※導入する商品等は、各産地組合の証明を受けるものとする												
(3) 補助率 1/2												
(4) 期間 令和3年度～令和5年度(3年間)												
[受益者] 伝統工芸品を導入した宿泊施設、飲食店等						[想定される受益者数] 8事業者						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 住宅への伝産品利用促進事業 (役割分担) 個人住宅に越前瓦・越前和紙を導入する場合は上記事業を活用し、宿泊施設等に伝統工芸品を活用する場合は、本事業により支援を行い、従来の枠を超えた新しい分野での伝統工芸品の需要拡大を図る。					
市町との連携状況	-					他県の状況	-					

## 北陸新幹線開業に向けた伝統工芸品建材活用支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一			
事業主体	事業者				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助													
補助率	1/2													
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	12,000		6,000			6,000		地方創生推進交付金						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						12,000								
2月現計予算額の推移						-								
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由		-												
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	伝統工芸品導入施設数 (件)	(目標)				(8)	(16)	(24)	毎年8件程度採択					
		実績												
活動指標	伝統工芸品導入金額 (千円)	(目標)				(24,000)	(48,000)	(96,000)	8件×24,000千円/件					
		実績												
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
-				-				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-			
-				-				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	-			

## 住宅への伝産品利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	瓦・和紙ともに1,000円/㎡(上限100千円)											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]												
ライフスタイルの変化により、瓦葺きの住宅や和室が減少し、越前瓦や越前和紙の需要が低迷												
[事業目的]												
住宅の新築時や、リフォーム時に越前瓦や越前和紙を使用する場合に、導入経費の一部を助成し、低迷している福井固有の地場製品の需要の拡大を図る。												
[事業内容]												
<p>「越前瓦」・「越前和紙」の需要拡大支援</p> <p>①新築・リフォーム時の越前瓦・越前和紙の使用支援(8,000千円)          県産材活用課が実施している「県産材を活用したふくい住まい支援事業」の対象者が、          屋根材に越前瓦を、襖紙や壁紙に越前和紙を使用する場合、導入経費の一部を助成(上限各10万円)</p> <p>②上記支援制度の案内パンフレットの作成(205千円)</p> <p>③確認業務委託(40千円)          施工現場確認等の業務を福井県建築組合連合会・福井県木材組合連合会に委託</p>												
[受益者] 県産材を活用した新築・リフォームに際し、越前瓦、越前和紙を導入した工務店						[想定される受益者数] 80名(越前瓦、越前和紙の導入支援を受けた工務店数) □						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県産材を活用したふくい住まい支援事業 (役割分担) 県産材を活用した新築・リフォーム時に対し、その敷地面積に応じて補助金を支給。 さらに屋根材として越前瓦、壁紙・襖紙に越前和紙を使用する場合には、当事業において上乘せ補助を実施。					
市町との連携状況	なし					他県の状況	住宅の屋根に瓦を使用する場合の助成制度は一部見られるが、住宅の壁紙等に和紙を使用する場合の助成制度なし。					

## 住宅への伝産品利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一					
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	瓦・和紙ともに1,000円/㎡(上限100千円)															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	8,245				8,245											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		13,297	10,277	9,246	8,245	8,245										
2月現計予算額の推移		9,948	5,580	7,221	4,095											
決算額の推移		8,402	5,251	5,809												
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度 補助実績を踏まえた補助件数の見直しによる補助金の減</li> <li>・令和2年度 補助実績を踏まえた補助件数の見直しによる補助金の減</li> </ul>															
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	補助件数	(目標) (130) 実績 99	(100) 60	(80) 65	(80)	(80)	(80)	(80)	越前瓦(40件)、越前和紙(40件) 計80件							
活動指標	パンフレット配布数	(目標) (3,000) 実績 3,000	(3,000) 3,000	(3,000) 3,000	(3,000)	(3,000)										
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
R2実績 越前瓦20件、越前和紙12件 32件(2月末時点)				—				□ 拡充		□ 縮減		□ 終期の見直し		見直し額		
								■ 継続		□ 休止		□ 完了				
								□ 整理統合		□ 廃止		□ その他				

## 伝統工芸品販売促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一						
事業主体	伝統工芸品産地組合				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R3 年度					
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他	経過年数	2 年
補助率	定額																
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]										
[解決すべき問題・課題]																	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、減少した伝統工芸産地の売上回復																	
[事業目的]																	
政府のGOTトラベル事業の延長にあわせ、各伝統工芸品産地組合が行う販売促進事業『福井で「倍返し！」キャンペーン』を支援し、旅行者による伝統工芸品の購入を促進することで、産地の売上回復を後押しする。																	
[事業内容]																	
販売促進事業に対する支援																	
①補助対象：伝統工芸品産地組合6団体 (越前漆器、越前和紙、越前筆筒、越前焼、越前打刃物、若狭塗(若狭めのう))																	
②対象経費：割引充当費用(個々の割引額は、利用した地域共通クーポン券と同額)、事業PR経費 原則、産地組合6団体が指定する県内店舗で販売する2,000円以上の伝統工芸品																	
③補助率：10/10																	
④期間：令和3年4月～令和3年6月(新型コロナウイルスの感染拡大状況等を見ながら実施)																	
[受益者] 伝統工芸企業						[想定される受益者数] 伝統工芸品販売店舗40社											
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 眼鏡・伝統工芸品販売促進事業 (実績) 割引実績(令和2年11月1日～12月27日) 眼鏡2,829,000円、伝統工芸品7,467,089円				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)									
市町との連携状況		—				他県の状況		—									

## 伝統工芸品販売促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一					
事業主体	伝統工芸品産地組合				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	定額															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	21,818				21,818											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					0	21,818	新型コロナウイルスが急激に世界規模で感染拡大したことにより、売上減少の影響を受けた県内眼鏡・伝統工芸企業を支援する予算を令和2年度は補正で措置。令和3年度は、補助対象を伝統工芸企業に絞り、GoToトラベル事業再開後の産地の売上回復を後押しする。									
2月現計予算額の推移					51,044											
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由		—														
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	品割引金額 (千円)	(目標)				(21,600)	(21,600)	(21,600)	18万円×40店舗×3か月							
		実績														
活動指標	登録店舗数 (店舗)	(目標)				(40)	(40)	(40)	参加企業店舗数							
		実績														
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
令和2年11月1日～12月27日 利用件数 2,460件 利用金額 7,467千円				—				□ 拡充		□ 縮減		□ 終期の見直し		見直し額		
								■ 継続		□ 休止		□ 完了				
								□ 整理統合		□ 廃止		□ その他				

## 「実は福井」の技 普及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	-														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ I 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 2 福井の産業・社会を支える人づくり ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]								
[解決すべき問題・課題]															
県内企業の持つ高い技術やニッチな製品情報の知名度が低く、国内・県内学生にPRする必要がある。															
[事業目的]															
「実は福井」の技を活用し、県内の優れた技術を国内外でPRすることで、新規販路開拓の支援を行う。また、県内の高校生等に県内企業の実力・魅力について知ってもらい、地元企業に対する興味や親しみを持つとともに将来にわたって本県ものづくり産業に対する理解を深めてもらうため、「実は福井」の技を配布する。															
[事業内容]															
(1) 「『実は福井』の技」による情報発信 ○ 内 容 マスコミ各社、大学等、県外からのビジネスマン向けに県内ホテルに配布、県外大手ユーザー企業との商談会で冊子を活用したPRを実施する。 (印刷部数2, 990部) (2) 「『実は福井』の技」の県内高校生および中学生への配布 ○ 内 容 県内の私立高校2年生全員に対して「『実は福井』の技」(通常版)を配布し、進路指導等の時間において企業研究や優れたものづくり技術を学習する機会を提供する。また、県立高校2年生に対しては、電子版を配布する。 ○ 配布部数 2, 100部 (3) 「実は福井」の技(通常版)のUターン就職を推進する各種事業における活用 [事業所管課: 交流文化部定住交流課] ○ 内 容 県外学生のUターン就職に向けた各種事業(ふるさと企業魅力発見フェア、ふくいものづくり企業魅力再発見事業、保護者セミナー等)において、県内企業の実力を知ってもらうための資料として活用する。 ○ 配布部数 1, 000部															
[受益者] 県内企業、県内高校2年生等						[想定される受益者数] 掲載企業 約150社、県内高校2年生 約7,500名									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績) -					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	-					他県の状況		新潟県 「にいがた モノ・クリエイト」(2019/3発行)							

## 「実は福井」の技 普及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,195				5,195							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	5,963	4,160	2,804	5,158	5,195							
2月現計予算額の推移	5,963	4,160	2,804	2,426								
決算額の推移	5,463	3,769	2,310									
前年度までの 主な増減理由	・令和3年度は、3年に一度の改訂を行うため経費増 (2年度の改訂は中止)											
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	「実は福井」の技 主要 経済誌等への掲載回数	(目標) (238)	(238)	(30)	(51)	(51)	(51)	(51)	前3年の最大値			
	実績	30	51	48								
活動指標	進路指導等での「実は福 井」の技 活用回数	(目標) (77)	(77)	(96)	(81)	(81)	(81)	(81)	前3年の最大値			
	実績	96	81	85								
活動指標	「実は福井」の技 本冊 発行部数	(目標) (3,500)	(3,500)	(2,500)	(4,300)	(4,000)	(1,500)	(1,500)	予算の冊数			
	実績	3,500	6,300	1,200	1,775							
活動指標	「実は福井」の技 高校 生への配布部数	(目標) (5,600)	(5,600)	(5,700)	(7,700)	(7,500)	(7,500)	(7,500)	県内高校2年生の生徒数(電子版配布も含む)			
	実績	5,700	5,700	6,500	7,425							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
県内の高校2年生等に配布し、進路指導や社会科等の授業で活用されており、活用実績も年々増加傾向にある。また、工場見学等の内容を充実し、県内の製造業の実力・魅力について理解を深めてもらう機会を広げた。				進路指導、社会科等の授業で活用するため高校生向けに、実は福井の技(電子版)を配布する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		



## 福井しあわせ健康産業創出支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体		県、県内企業			事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営、委託、補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 7 Society5.0時代の新産業創出 ]			関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]												
県内企業の優れたものづくり技術の新規分野への展開 「医療」、「介護」、「健康」産業の地場産業化												
[事業目的]												
県民の疾病予防による健康寿命（健康で自立して暮らすことができる期間）の延伸、医療・介護体制の充実により介護負担の軽減につながる「福井しあわせ健康産業」を創出するため、県内企業の技術力と、医療・介護・健康分野の現場ニーズを組み合わせ、マッチングと販路開拓の支援を行う。												
[事業内容]												
I 医療・介護産業販路開拓支援事業（2,683千円） 医療・介護現場や医療機器メーカーとのマッチング支援 ①現場ニーズと県内企業のシーズの情報交流会 ②医療・介護現場見学会 ③国内医療機器製造販売企業と県内企業のビジネスマッチング支援												
II 福井しあわせ健康産業協議会運営事業（1,006千円） (1) 福井しあわせ健康産業協議会会議の開催（運営委員会、総会） (2) 顧問の配置（1名）												
III 福井県ヘルスケアビジネス研究会の開催（12,448千円） (1) ビジネスプランを創出するための研究会を設置 (2) コーディネーターの配置（1名） (3) 成果事例紹介・ヘルスケア事業施設の視察 (4) ビジネスプラン実現に対する補助 [補助率1/2、上限5,000千円×2件]												
IVヘルスケア意識を啓発するイベントの開催（337千円）												
[受益者] 県内ものづくり企業						[想定される受益者数] 766社						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	全国の次世代ヘルスケア産業協議会設立数 45件 (R1.8月末現在)					

## 福井しあわせ健康産業創出支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	県、県内企業				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営、委託、補助					□ 法定受託事務						
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	16,474	11,922		300	4,252	地方創生推進交付金 1,694千円 地域活性化雇用創造プロジェクト事業費補助金 10,228千円 出展料企業負担金 300千円						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		10,255	8,651	13,200	20,138	16,474	・ 試作品開発や販路開拓にかかる補助を他事業（成長産業チャレンジ事業）と統合					
2月現計予算額の推移		8,874	8,024	11,339	11,538							
決算額の推移		6,847	6,177	10,060								
前年度までの 主な増減理由	令和2年度：ヘルスケアビジネス研究会において創出されたビジネスプランの実証にかかる補助制度の創設による予算増											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	医療学会への出展支援等 による商品化数 (目標)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	H26～R1の実績（累計72件）の平均から算出			
	実績	12	12	12	41							
活動指標	医療学会、医療機器展示 会への出展支援件数 (目標)	(12)	(26)	(19)	(20)	(15)	(15)	(15)	本郷展示商談会：10件、補助金による出展支援：3件			
	実績	8	17	13	12							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議会に顧問を配置し、大学や県外企業とのマッチングを推進</li> <li>・ ヘルスケアビジネスプラン研究会において創出されたビジネスプランの実証のための補助を実施</li> <li>・ 医療機器メーカー向け展示商談会、医療等現場見学会の開催方法を現地からオンラインに変更</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試作品開発や販路開拓にかかる補助を他事業と統合</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> その他		

## 宇宙産業拡大支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	県、福井県民衛星技術研究組合				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 7 Society5.0時代の新産業創出 ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]												
宇宙産業へ参入する県内企業の増加。 県内企業の技術力の県内外への効果的なPR。												
[事業目的]												
宇宙産業へ参入した県内企業が、自社製品・技術の販路拡大・受注促進につなげていくために、県内外の企業・大学等との共同研究や技術交流を促進する。 工業技術Cにおける試験設備の整備等を通し、企業が宇宙産業に参入しやすい環境を整え、企業の人工衛星製造を支援する。 県民衛星プロジェクトの取組みなどを県内外に発信し、福井への宇宙産業集積に繋げる。												
[事業内容]												
①宇宙産業人材の育成(12,882千円) ・県内企業の新規参入、宇宙産業の人材育成を促すため、国内トップクラスの研究者による技術研修の開催、共同研究、製造・運用を支援 ②県外企業・大学との技術交流(2,068千円) ・大手宇宙機器メーカーを招聘し、ニーズ紹介のための相談会、県内企業とのマッチングを実施 ・県外企業と大学等との人工衛星に関する共同研究に必要となる交通費・通信運搬費を支援 補助内容：共同研究先への交通費・宿泊費・運搬費、補助率：1/2 ③人工衛星製造支援(11,583千円) ・熱真空試験の高度化(S帯での通信に対応した衛星の製造支援) ④県内外への情報発信(369千円) ・県外出展会への出展を通じ、「県民衛星プロジェクト」の取組みを県内外へ発信し、宇宙産業の集積に繋げる。 防犯防災総合展への出展												
[受益者] 県内企業等						[想定される受益者数] 70企業						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担					<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県民衛星プロジェクト支援事業 (役割分担) 本事業では、県内企業の宇宙産業への新規参入、宇宙産業の拡大を図るための事業を計上。県民衛星の製造・打上げに関する費用は別事業で計上。	
市町との連携状況						他県の状況						

# 宇宙産業拡大支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	県、福井県民衛星技術研究組合				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	26,902	13,451			13,451	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			57,817	37,116	26,902	・衛星データ利活用ソフトウェア開発支援補助金 △10,000千円						
2月現計予算額の推移			32,583	24,600								
決算額の推移			23,573									
前年度までの 主な増減理由	令和2年度に補助事業者に衛星データを提供するための委託業務が必要なくなったため減額											
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	宇宙分野へ参入する県内 団体数 (目標)		(55)	(58)	(70)	(70)	(70)	宇宙産業創出研究会の参画企業数				
	実績		56	69								
活動指標	ビジネスマッチング会開 催件数 (目標)		(2)	(2)	(2)	(6)	(6)	下期2回				
	実績		1	2								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究員の雇用（福井大学委託）</li> <li>・人工衛星設計基礎論実施（10回）</li> <li>・工業技術センタークリーンブース改修</li> <li>・テクノフェア2020、宇宙科学技術連合講演会出展</li> </ul>				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	10,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	■ その他		

## 北陸技術交流テクノフェア開催事業費補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	技術交流テクノフェア実行委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 7 Society5.0時代の新産業創出 ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]												
県内企業の市場拡大や経済活性化のため、ものづくり技術や製品の知名度を市場で高める必要がある。												
[事業目的]												
本県のものづくり技術や付加価値の高い新商品開発力を県内外の企業に示し、新たな販路を開拓するため、北陸最大規模の展示商談会である「北陸技術交流テクノフェア」の開催を支援する。												
[事業内容]												
北陸技術交流テクノフェア2021 (主催: 技術交流テクノフェア実行委員会/事務局: 福井商工会議所)												
○開催時期 令和3年10月下旬 (2日間)												
○開催場所 福井県産業会館												
○主要内容												
・展示会: 技術交流、研究開発、技術移転等に積極的な企業、研究機関、大学・高専、各種団体等が、それぞれが有する技術・製品等を出展 [約150社 (約200小間)]												
・新製品・新技術プレゼンテーション: テーマごとに、出展者が保有する技術シーズや研究成果、最新の製品、事業化事例などを発表												
・技術相談・商談会: 出展者の技術情報を事前にガイドブックにして取りまとめ、技術相談・商談会を実施												
・特別講演: 国内大手製造企業のトップによる、企業が成長・発展するための技術開発の必要性や、産学官一体となった取組による技術革新の成功例等についての講演												
・特別企画展: 大きな成長やビジネスチャンスの可能性が見込める分野など時宜を得たテーマで特別展示を実施												
○総事業費 29,500千円												
○実行委員会の構成 福井県、福井市、北陸経済連合会、(一財)北陸産業活性化センター、福井商工会議所(事務局)、(公財)ふくい産業支援センター、福井県環境・エネルギー懇話会、フクビ化学工業(株)、セーレン(株)、日華化学(株)、吉岡幸(株)、北陸電力(株)、(株)福井銀行、(株)北陸銀行、(株)北國銀行、福井大学、福井工業大学												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	◆ 石川県 「MEX (メックス) 金沢2019 (正式名称: 第57回機械工業見本市金沢)」 ※毎年開催 ・出展者数216社 ・来場者数58,795名 ※石川県は「後援」(主催: (一社)石川県鉄工機電協会)。定額200万円の補助金を支給 ◆ 富山県 「富山県ものづくり総合見本市2019」 ※隔年開催 ・出展者数400社 ・来場者数約30,000人 ※主催は「富山県ものづくり総合見本市実行委員会」で富山県も入っている。開催費用ほぼ全額の約1億円を支出					

## 北陸技術交流テクノフェア開催事業費補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	技術交流テクノフェア実行委員会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,000	4,500			4,500	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		9,000	9,000	9,000	9,000	9,000						
2月現計予算額の推移		9,000	9,000	9,000	6,700							
決算額の推移		9,000	9,000	9,000								
前年度までの 主な増減理由	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	来場者数	(目標)	(18,950)	(17,632)	(18,294)	(16,014)	(16,000)	(16,000)	(16,000)			
		実績	17,632	(18,294)	16,014	28,360						
	相談・商談件数平均	(目標)	(43.3)	(45.7)	(35)	(38)	(38)	(38)	(38)			
		実績	41.6	34.7	37.9	2.0						
活動指標	出展者数	(目標)	(192)	(189)	(176)	(180)	(180)	(180)	(180)			
		実績	172	176	180	123						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
コロナウイルスの感染拡大によりオンライン開催変更。商談件数は例年通りとはならなかったものの、トップページのアクセス数が28,000件を超え、出展者の意見としてはオンライン展示会を経験できた等の前向きな意見が多い。				コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、リアルとWebでのハイブリット開催を計画。リアルのブースは感染拡大防止策として十分な空間を確保する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一				
事業主体	福井県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H15 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	-														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) 政策 [ 7 Society5.0時代の新産業創出 ] ]					関連する県の計画等									
[解決すべき問題・課題]															
機密性の高い研究情報を共有するため専用のネットワークの構築が必要である。															
[事業目的]															
公設試験研究機関相互の情報通信ネットワークである「公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク(公設試NW)」を活用した、効率的でレベルの高い試験や共同研究、情報の発信や共有等を行っていくため、情報ネットワークの運用および保守管理を行う。															
[事業内容]															
(1) 公設試験研究機関情報ネットワークの運用 専用回線による各公設試験研究機関および学術情報ネットワーク(インターネット)への接続															
(2) 公設試験研究機関情報ネットワークの保守・管理 ネットワークサーバ、端末機、各公設試験研究機関内LAN(有線・無線)、その他(プリンタ・他端末への接続)等の保守・管理															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	公設試NWは、研究データ・利用企業データ等を保護するために、独立したネットワークとして整備されており、市町とは連携していない。					他県の状況	富山県 技術データ共有システム 工業技術センターの3つの研究拠点を結ぶシステムを保有  石川県 工業試験場内のネットワーク 工業試験場～久谷焼センターを結ぶ回線								

## 公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一				
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H15 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			19 年
補助率	-														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	36,076	36,076			0										
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移	42,275	37,243	35,948	34,782	36,076	ルータ・ファイアウォール機器更新による経費増。									
2月現計予算額の推移	40,211	34,764	35,948	34,389											
決算額の推移	40,211	34,764	35,202												
前年度までの 主な増減理由	-														
[成果指標等の推移]															
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	サーバーアクセス数(千件) (目標)	(3,400,000)	(3,500,000)	(3,500,000)	(3,500,000)	(3,500,000)	(3,500,000)	(3,500,000)	ネットワークの利用の指標						
	実績	2,865,724	3,860,856	4,026,069											
活動指標	重大なネットワークトラブル発生数 (目標)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	ネットワークの停止、ウィルスへの感染、情報漏えい等、業務に支障をきたす重大なトラブルが起こらないこと						
	実績	0	0	0											
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた令和3年度の変更点					事業評価							
セキュリティソフトの更新を実施			-					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					



# 地域科学技術振興研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H8 年度 経過年数 26 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	-													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) 政策 [ 7 Societh5.0時代の新産業創出 ] ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]							
[解決すべき問題・課題]														
<p>県内産業への科学技術の振興 県内産業の製品開発・技術開発段階における実証実験の支援</p>														
[事業目的]														
<p>本県で成長が期待される分野を中心に地域の科学技術振興に寄与する研究開発を、複数の試験研究機関等の連携により実施することで、地域の科学技術振興を図る。</p>														
[事業内容]														
<p>県内の各産業に成果を移転・普及できる調査研究、技術開発で、かつ各産業界や地域からのニーズがある研究テーマ、およびそれらの研究に使用される備品等の整備を行う。</p> <p>(1) 新規研究テーマ      13テーマ (多波長レーザー光を用いた生態信号計測技術の研究開発 など)  (2) 継続研究テーマ      31テーマ (AD法による曲面形状へのセラミックスコーティング技術の開発 など)  (3) 備品整備および修繕    23件 (非接触表面形状測定機 など)  (4) 保守点検                1件 (電子顕微鏡)  (5) 研究実施機関          7機関 (工業技術センター、食品加工研究所、農業試験場、畜産試験場、水産試験場、総合グリーンセンター、衛生環境研究センター(電子顕微鏡の保守))</p>														
[受益者] 県内中小企業						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況	<b>石川県</b> ・一つの事業で複数の公設試(組織)に予算を分配する事業があるが、公設試をまたいだ事業はない。 ・国の競争的資金では、一時的に本課が予算計上して公設試に分配する例がある。  <b>富山県</b> ・一つの事業で複数の公設試に研究予算を分配している事業はない。農林水産総合技術センターに属する機関の間では「特別重点化枠研究事業(県単)」を実施。 ・サポイン事業等、国の競争的資金の場合は、個別テーマで工業系と農水系の公設試が連携し、同一の予算から研究費が出ることもある。							

## 地域科学技術振興研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H8 年度 経過年数 26 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	266,112	266,112				0	195,998千円 70,114千円	特別電源所在県科学技術振興事業補助金 エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金				
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		347,817	497,687	371,865	302,011	266,112	特別電源所在県科学技術振興補助金の配分方法見直しによる減					
2月現計予算額の推移		344,767	497,687	345,727	295,703							
決算額の推移		341,260	372,050	329,272								
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度から、「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」を「特別電源所在県科学技術振興補助金」と併せて要求。</li> <li>・令和元年度は、「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」の研究テーマの減に伴い、減額となっている。</li> <li>・令和2年度は、特別電源所在県科学技術振興補助金の配分方法見直しにより、減額となっている。</li> </ul>										
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	技術移転数	(目標) 実績	(7) 8	(7) 14	(7) 12	(7) 12	(7)	(7)	各公設試において1年/件（技術移転とは研究成果を利用した地元企業による、実用化（製品化）件数、共同研究数、外部資金獲得数）			
活動指標	研究テーマ数	(目標) 実績	(49) 50	(52) 50	(56) 55	(47) 47	(44)	(44)				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
本事業により実施する研究は各試験研究機関の中心的な研究事業となっており、以下の事業を遂行。R2年度の活動指標を達成している。 研究テーマ数 47件、備品単独整備数 32件、保守・維持運営 7件				各公設試が行う研究の終了・追加				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 成長産業チャレンジ支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	補助金													
補助率	2/3													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) 政策 [ 7 Society5.0時代の新産業創出 ] ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]							
[解決すべき問題・課題]														
県内中小企業が新分野に進出する際に活用しやすい補助金がない。														
[事業目的]														
県内中小企業の高いものづくり技術を活かし、成長産業への参入や市場拡大、早期事業化の支援を目的に、県内のオープンイノベーションによる技術開発から販売促進までの一貫支援を強化する。														
[事業内容]														
<p>(1) 成長産業チャレンジ支援事業補助金</p> <p>①成長産業可能性調査支援 成長産業4分野（宇宙、航空、ヘルスケア、持続可能な社会に向けた技術開発（次世代エネルギー、リサイクルなど））の市場調査や研究開発を支援</p> <p>②早期事業化技術開発支援 企業がもつ優位技術の課題解決や、早期事業化に資する研究開発を支援</p> <p>③地域経済牽引（新規） 成長産業4分野での集中的な研究開発を支援</p> <p>④地域経済牽引（継続） 将来のふくいを牽引する技術開発支援事業の継続事業</p> <p>補助率：2/3、補助額：①200～1,000千円 ②1,000～5,000千円 ③10,000～30,000千円（単年度上限 15,000千円）、④5,120千円</p> <p>補助事業者：県内企業または県内企業を代表者とする企業グループ（②③④は中小企業に限る）</p> <p>補助対象経費：①市場調査費・研究開発費、②③④研究開発費・設備投資費・販路開拓費（ニーズ調査等）</p> <p>(2) ふくいオープンイノベーションの運営</p> <p>戦略会議やセミナーを開催、研究成果を県内企業にPR（オンライン成果展含む）など</p>														
[受益者] 県内中小企業						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 将来のふくいを牽引する技術開発支援事業 (実績) H30 申請 8件 採択7件 R1 申請10件 採択6件 R2 申請11件 採択7件 採択事業20件中3件が事業化済、4件がR2年度事業化予定					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況	【石川県】新製品・新技術研究開発支援事業 (基金運用/実施主体は外郭団体) 補助率：2/3、補助上限：20,000千円、事業期間：3年 【富山県】ものづくり研究開発支援事業 (基金運用/実施主体は外郭団体) 補助率：1/2、補助上限：20,000千円、事業期間：2年							

## 成長産業チャレンジ支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金											経過年数		
補助率	2/3											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	64,696	32,348				32,348	地方創生推進交付金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						64,696								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	事業化件数 (目標) 実績					(0)	(9)	(13)	事業終了後の事業化率 1年後 30% 最終目標 50% ※成長産業可能性調査支援を除く採択事業27事業					
活動指標	採択件数 (目標) 実績					(13)	(36)	(36)	R3 新規13件、継続1件 R4、5 新規13件、継続1件 R6 継続1件					
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 一般研究事業（競争的資金）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			□ 補助金				□ その他				
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) 政策 [ 7 Society5.0時代の新産業創出 ] ]				関連する県の計画等			[ 福井経済新戦略 ]				
[解決すべき問題・課題] 県内企業が新商品を開発および販売するまでには、基礎研究の実施、実証化実験、生産設備の導入など人的、金銭的コストが発生する。市場ニーズに対応した魅力ある商品を素早く市場に提供するためには、競争的資金の獲得による金銭的負担の軽減に加えて、産学官金の連携により個別案件の各ステップに応じて適切な研究実施体制を構築する必要がある。												
[事業目的] 国や国研等が実施する競争的資金による研究開発補助金等について、工業技術センターが県内企業や大学等と共同研究体制を構築して補助金申請を行い、共同研究を実施することで産学官による新技術・新商品開発を支援する。												
[事業内容] 1. 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）事業（国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）） （1）薄層シートの高速度製造技術の開発  2. 戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省） （1）環境を配慮した航空機座席用軽量多層織物クッション材の研究開発 （2）微量液滴アトマイズ法による金属粉末の革新的製造技術開発  3. 先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）） （1）熱可塑性薄層UDシートを用いた革新一貫製造プロセスの開発												
[受益者] 共同研究者（企業、大学等）						[想定される受益者数] 共同研究者						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	特になし					他県の状況	石川県（予算措置有） ・超硬合金積層造形とハイブリッド加工による超薄肉長尺精密ジグの革新的製造技術の開発 ・変形性膝関節症治療のための高強度小型立体固定プレート及び固定方式の開発 ・高性能プロセッサの発熱問題を解決する環境調和型電子冷却モジュールの開発					

# 一般研究事業（競争的資金）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	82,612			(諸) 82,612	0	科学技術振興機構「戦略的イノベーション創造プログラム第2期」 新エネルギー・産業技術総合開発機構 「NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム」 など						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		23,541	130,097	127,847	62,478	82,612	競争的資金による予算枠を一本化					
2月現計予算額の推移		42,113	223,449	101,893	61,057							
決算額の推移		41,056	140,379	101,355								
前年度までの 主な増減理由		・ H28～R1年度は、各種競争的試験の申請の採否によって実施する共同研究の本数や所要額の増減があった。										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	製品化件数（累計）	(目標)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)			目標：事業終了5年後に研究テーマの1/2が製品化、または新たな技術開発に発展すること、（SIPは航空機分野で15年後、NEDOは自動車分野で10年後の実用化） ※R3に事業終了5年経過のテーマ数：12テーマ		
		実績	1	4	5	5						
活動指標	研究テーマ数	(目標)	(5)	(5)	(5)	(5)			採択および継続事業件数			
		実績	5	6	5	5						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
1. (SIP) 事業 1件実施（継続1件） 2. 戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省） 3件実施（新規2件、継続1件） 3. 先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム（NEDO） 1件実施（継続1件）				競争的資金の予算執行を円滑に実施するため、想定される補助申請案件を全てまとめて当初予算に計上することとした。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 地域資源活用共同研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) 政策 [ 7 Society5.0時代の新産業創出 ] ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]												
県内企業の技術開発・新製品開発段階における課題や業界が抱える製品開発における技術課題の実証実験を支援する必要がある。												
[事業目的]												
企業が抱えている日常的に生じる技術課題から新産業創出のための新技術開発までの幅広い技術課題に対応し、県内企業の競争力のある技術開発を支援する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別企業課題対応型共同研究 年 4 件程度 ( 1 研究あたり 900 千円程度 )</li> <li>・ 業界課題対応型共同研究 年 2 件程度 ( 1 研究あたり 1,500 千円程度 )</li> </ul>												
[受益者] 共同研究者 (企業、大学等)						[想定される受益者数] 共同研究者						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	特になし					他県の状況	石川県工業試験場 (予算措置有) ・ 企業参画型研究開発 ・ 企業ニーズ即応型研究開発 富山県産業技術研究開発センター (予算措置有) ・ 若手研究者育成支援研究事業 ・ 企業との共同研究					

# 地域資源活用共同研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度						
事業実施方法	直営																	
補助率	-																	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等												
予算額	10,480				10,480													
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>																		
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由												
当初予算額の推移	9,143	8,503	7,930	10,480	10,480													
2月現計予算額の推移	9,143	8,503	7,930	10,480														
決算額の推移	9,143	8,574	7,628															
前年度までの 主な増減理由	・伝統的工芸品新機能開発事業との統合によりR2年度から増額。																	
[成果指標等の推移]																		
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠										
成果指標	製品化・事業化件数	(目標) (3) 実績 2	(3) 3	(3) 2	(3) (3)	(2) (2)	(2) (2)	~R1：研究終了1年後に1/4が製品化・事業化 R2～：研究終了1年後に1/3が製品化・事業化 <small>(テーマ数を絞り、1テーマあたりの事業費を大きくすることで製品化・事業化を促進)</small>										
活動指標	研究テーマ数	(目標) (12) 実績 14	(12) 12	(12) 11	(6) 6	(6) (6)	(6) (6)					採択および継続事業件数						
[事業の評価]																		
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価										
R2年度は6件の研究テーマを実施しており、活動目標を達成。 R元年度に過去の研究テーマについて2件製品化しており、成果目標は未達成。				競争的資金の予算執行を円滑に実施するため、想定される補助申請案件を全てまとめて当初予算に計上することとしたい。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額							
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了								
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他								



## 研究開発プロフェッショナル人材設置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課		課長名	中嶋浩一			
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	-														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) 政策 [ 7 Society5.0時代の新産業創出 ] ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]								
[解決すべき問題・課題]															
県内生産年齢人口の減少に伴い、副業・兼業による働き方を県内企業に周知していく必要がある 企業が新規分野に進出する時や新製品・技術等を開発する際には、外部の人材を雇用する必要がある															
[事業目的]															
ふくいオープンイノベーション推進機構において、大型共同研究プロジェクトの推進を図るとともに、副業・兼業人材の活用による経営課題解決を支援する。															
[事業内容]															
<p>(1) 県外大手企業と連携した研究プロジェクトの調整・管理</p> <p>(2) 展示会への出展、セミナー開催等により研究成果の新規分野展開を支援</p> <p>(3) 副業・兼業人材の活用による経営課題解決を支援</p> <p style="margin-left: 20px;">県内中小企業とネットワークを持つ人材を配置</p> <p style="margin-left: 20px;">県内中小企業が活用する副業・兼業人材の旅費を支援</p> <p style="margin-left: 20px;">補助対象経費 県外の副業・兼業人材の移動に係る経費</p> <p style="margin-left: 20px;">補助率 県1/2</p> <p style="margin-left: 20px;">補助上限額 50万円/人</p>															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況	東京都・沖縄県を除く45道府県でプロフェッショナル人材事業を実施。内閣府が主体となり、全国協議会や合同イベントを実施。								

# 研究開発プロフェッショナル人材設置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋浩一			
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	-					□ その他			□ その他					
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	46,755		34,498				12,257	地方創生推進交付金、地域活性化雇用創造プロジェクト						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		33,114	33,114	41,798	46,756	46,755								
2月現計予算額の推移		32,699	32,699	39,232	45,676									
決算額の推移		30,076	30,077	36,608										
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度 地域活性化雇用創造プロジェクト開始に伴い体制拡充したことによる予算増加</li> <li>・令和2年度 拠点の人員体制拡充（福井銀行、福邦銀行との連携）、副業・兼業人材の勤務に必要な旅費に対する補助金開始による予算増加</li> </ul>												
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	成約件数 (プロ人材採用件数)	(目標) (16)	(21)	(23)	(25)	(27)			内閣府設定目標					
		実績 40	66	60										
活動指標	相談件数 (県内企業面談件数)	(目標) (230)	(295)	(330)	(365)	(400)			内閣府設定目標					
		実績 342	360	266										
[事業の評価]														
令和2年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
相談件数：358件（2月末時点） 成約件数：63件（2月末時点）				県内企業の副業・兼業人材雇用を促進				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 生産工程自動化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋浩一			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度		
事業実施方法	補助金			□ 法定受託事務					■ 補助金	□ その他			経過年数	1 年
補助率	1/2													
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ]		政策 [ 7 Society5.0時代の新産業創出 ]		関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]							
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>生産年齢人口の減少による人手不足、コロナの影響による省人化ニーズのため、生産現場へのロボット導入が喫緊の課題である。導入構想の作成には専門家への依頼が必須だが、費用が高額である。</p>														
<p>[事業目的]</p> <p>労働人口の減少による人手不足対策やアフターコロナの労働環境の変化への対策のため、ロボット導入の設計費用を支援し、県内企業のロボット導入を加速する。</p>														
<p>[事業内容]</p> <p>生産性向上につながるロボットの選定、配置、システム設計等のロボットシステムの導入構想作成にかかる費用を支援（3,015千円） [補助率1/2、上限1,000千円×3件]</p>														
[受益者] 県内ものづくり企業						[想定される受益者数] 766企業								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 IoT・AI・ロボット導入促進事業支援補助金 (創業・経営課) (役割分担) ・本事業で作成した導入構想を基にして、IoT・AI・ロボット導入促進事業支援補助金を活用することで県内企業へのロボット導入を図る。							
市町との連携状況						他県の状況	【山形県】ロボット導入加速化支援事業 ・ロボット導入を検討する企業に対して、専門のアドバイザーが導入構想の作成を支援する。 25万円/社							

## 生産工程自動化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋浩一			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助金					□ 法定受託事務			■ 補助金			R3 年度		
補助率	1/2								□ その他			経過年数 1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,015	1,507			1,508		地方創成推進交付金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						3,015								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	ロボット導入企業数 (目標) 実績					(0)	(1)	(2)	採択3社のうち、導入に至る企業を1件と想定					
活動指標	採択件数 (目標) 実績					(3)	(3)	(3)	毎年3件の採択予定					
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 繊維産業新規市場開拓支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課		課長名	中嶋 浩一			
事業主体		(一社) 福井県繊維協会			事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	補助														
補助率	県1/2~3/4														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	Ⅱ 成長を創る(産業力)			関連する県の計画等		〔 福井経済新戦略 〕								
[解決すべき問題・課題]															
海外アパレル市場への進出、SDGsへの対応、アフターコロナに向けた新たなビジネススタイルへの対応															
[事業目的]															
繊維関連団体が実施する事業を支援し、販売単価の上昇や福井ブランドの認知度向上を図る。															
[事業内容]															
1 事業内容 (1) 産地内連携や販路開拓を行うコーディネーターの設置 (2) 海外アパレル市場や非衣料分野への進出 (3) SDGsに対応したリサイクル体制の構築および環境認証取得 (4) 関西・中京圏など他産地と共同で行う新素材開発や販路開拓 (5) ファッション系学校を対象とした県内産地への就労促進 2 実施主体 (一社) 福井県繊維協会 3 補助率・補助金額 補助率(1) 3/4、(2)~(5) 1/2 限度額23,051千円															
[受益者] 県内繊維関連企業						[想定される受益者数] 6団体									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	-					他県の状況	・大阪府では「せんば適塾」という産地間連携を促進する取り組みを行っているが、活動費の支援がないため活動範囲が関西圏に限定され広域的な連携に至っていない。 ・滋賀県では中小企業の海外進出に向けた取組を支援しているが、繊維産業に特化したものではなく、その他の県も繊維に特化した事業はない。								

## 繊維産業新規市場開拓支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	中嶋 浩一		
事業主体	(一社) 福井県繊維協会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助								<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	県1/2~3/4								<input type="checkbox"/> その他		2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	23,051	11,525			11,526	地方創生推進交付金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				24,313	23,051	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繊維関連団体が実施するコーディネーターの設置事業の見直しによる減</li> <li>・ 学生の産地研修事業の3密対策による増額</li> </ul>							
2月現計予算額の推移				15,820									
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	販売額	(目標)		(70,000)	(70,000)	(140,000)	(210,000)	非衣料分野への進出5,000千円 + 海外への販路開拓45,000千円 + 産地内連携20,000千円					
		実績		60,049									
活動指標	支援件数	(目標)		(6)	(6)	(12)	(18)	非衣料分野への進出2件 + 海外への販路開拓2件 + 産地内連携2件=計6件を想定					
		実績		4									
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーディネーターによる産地企業を連携した商品開発と販路開拓(販売額：57,440円)</li> <li>・ 国内展示会(ジャパンクリエーション)への出展等を支援(販売額：2,609円)</li> <li>・ 学生の産地研修事業はすべて中止</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーディネーター事業の見直し(産地連携、販路開拓から、環境対策、新スタイルビジネスへ)</li> <li>・ 学生の産地研修事業の3密対策による増額</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,262		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			